

さんさんだより

平成30年12月21日(第4号)

兵庫小学校
算数 少人数TT
江原・中尾・諸石



子どもたちの2学期後半の算数の学習の様子をお知らせします。各学年で来年の算数の学習につながる単元が多くありました。算数は、好き嫌いのはっきりした教科になりやすいですが、何回も繰り返し練習することで、「解ける喜び・楽しさ」に気付いてくれることを願っています。

<1・4年生> 担当 江原

<1年生>どちらがひろい・2がっきのまとめ

2学期の初めに学習した「どちらがながい」を思い出しながら、広さくらべの学習をしました。端をそろえて重ね、広そうなものから下に置くと、はみ出したほうが広いことを調べました。また、同じ大きさのマスの数が多いほうが広いことを知り、じんとりゲームで楽しみ、広さをくらべて勝敗を決めました。

12月に入ってから、文章題を中心に復習をしています。問題文を読んで「たし算かな ひき算かな」と考える練習をたくさんしました。繰り上がり、繰り下がり、繰り下がりの練習がまだ不十分だったり、問題に合わせた答え方(単位の書き方、どちらがどれだけ多いなど)が難しかったりしているようです。特に、一桁どうしのたし算やひき算は、2年生以降の学習の基礎となるととても大事な部分ですので、冬休みの間に「速く」「正確に」できるように練習を重ねてほしいところです。

毎日、一回ずつでも計算カードに取り組むことで、確実に力になります。年末年始でお忙しいかとは思いますが、ご家族の方と一緒に計算カードに取り組む時間を作ってあげてください。



教科書30ページの「けいさんピラミッド」を難しく感じた子が多かったようです。たし算、ひき算の練習にもなります。

<4年生>小数のしくみ・変わり方・2学期のまとめ

小数の学習では、小数点以下の0を消し忘れたり、小数の10倍や $\frac{1}{10}$ の数を答えたり、単位換算(g単位からkg単位、mL単位からL単位、m単位からkm単位)をする問題に難しさを感じているようでした。繰り返し練習を重ねているところです。

変わり方では、ともなって変わる二つの数を表に表し、表を横に見たり縦に見たりすることで変わり方のきまりを見つけ、式に表す練習をしました。6年生で学習する「比例・反比例」の基礎の学習です。きまりを見つけるためには3回は必ず調べる、表に表して縦と横の変わり方を調べる、それから式に表すということを徹底して

だんの数(だん)	1	2	3	4
まわりの長さ(cm)	4	8	12	16

+1 +1 +1

だんの数(だん)	1	2	3	4
まわりの長さ(cm)	4	8	12	16

+□ +□ +□

います。

2学期を振り返ると、慌てているのか問題をよく読まず回答してしまうことが多く、特に、単位のつけ忘れが多いです。また、かけ算の筆算の正答率が低く、課題だと感じています。九九の間違いや筆算での繰り上がり(繰り下がり)のミスが目立ちます。3学期に少数のかけ算とわり算の学習をしますので復習用のプリント集を配布しています。冬休みの間にしっかり復習し、スムーズに3学期の学習に入れるようにしておきましょう。

<2・5年生> 担当 諸石

(2年生)「九九名人をめざそう」

かけ算の九九の学習をしてきました。右の図のような●の数を求める際にも、まとまりを見付けて、「わけたし方法」「いどう方法」「まぼろし方法」で求めました。答えは同じだけど、多様な方法があることに、子どもたちは学ぶ楽しさを感じたようです。



【子どもたちから出た3通りの方法】

また、九の段まで、学習しましたので、「上がり九九」「下がり九九」「とび九九」も、すらすら言えるよう挑戦させています。特につまずきやすい九九は、 3×7 , 4×7 , 6×4 , 6×7 , 7×3 , 7×4 , 7×6 , 8×6 , 8×7 などです。冬休みにご家庭でも練習させていただきようお願いします。

（５年生）「面積の求め方を考えよう」の学習について

この単元では、公式を初めから与えるのではなく、多様な考えに気付くように進めました。最初に出てくる平行四辺形の面積を求める時は、長方形に変形して面積を求めました。

さらに、公式を導き出すためには、どこの長さが分かればいいのかを考えさせ、底辺や高さを見付ければ求められることに気付かせました。三角形や台形やひし形も長方形や平行四辺形をもとにした考えから公式へとつなげました。

この学習では、いろいろな図形の公式を覚えるために、大切な「底辺」や「高さ」に色分けをすること等で、少しずつ理解してきたようです。しかし、公式が次々に出てきたので三角形や台形、ひし形などの公式の「 $\div 2$ 」を忘れがちになりがちでした。繰り返し練習をすることで定着するので、ご家庭でも、ぜひ声かけをしてくださるようお願いします。



説明をする子どもに合わせて式を書く様子



友だちと意見を交流させる子どもの様子

<3・6年生> 担当 中尾

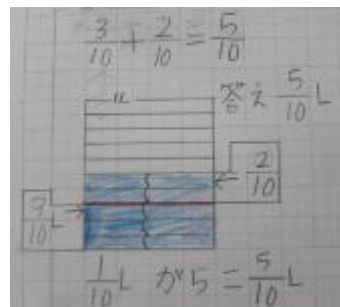
3年生 「丸い形を調べよう」の学習について

子ども達は初めて使うコンパスに興味津々で、やる気満々の気持ちが伝わってきましたが、いざ使う時になると、思うように回すことができずに四苦八苦する姿が見られました。しかし、慣れてくると、色んな大きさの円を正確に描いたり、コンパスの特性を生かしたきれいな模様を描いたりできるようになりました。



「はしたの大きさの表し方(分数を使って)」の学習について

2年時に学習した簡単な分数をもとにして、分母と分子の意味を理解したり、数直線上から分数と小数の大きさを比べたりしながら分数を本格的に学びました。分数を使うと整数では表せない等分してできる大きさや端数部分の大きさを表せる良さに気付くことができました。



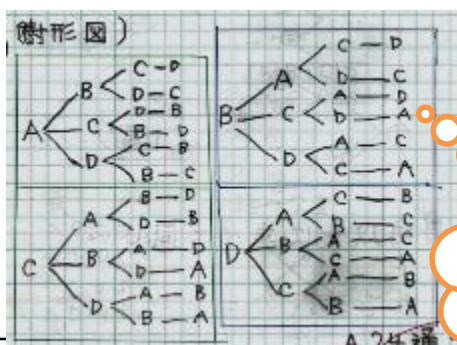
6年生 「順序よく整理して調べよう」並べ方と組み合わせ方

この単元では、「遊園地の4つの乗り物に乗る順序」や「リレーの走る順番」「5つの果物から2つ選ぶときの選び方」などの起こりうるすべての場合を調べることができるようになることが目標です。適当に思いつくままに考えていたのでは、落ちや重なりがでてしまいます。順序よく書き並べるとか、樹形図や線つなぎ、組み合わせ表などいろいろな表し方があることを学習しました。

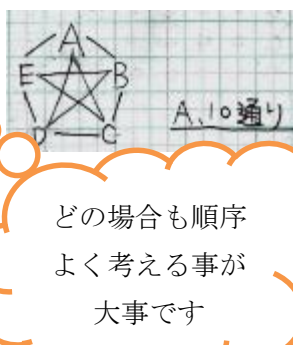
書き並べ

ABCD	BACD
ABDC	BADC
ACDB	BCAD
ACBD	BCDA
ADCB	BDAC
ADBC	BDCA
CABD	DACB
CADB	DABC
CBAD	PBAC
CBDA	DBCA
CDAB	PCAB
CDBA	DCBA

<樹形図>



<線つなぎ>



<組み合わせ表>

リレー7単元				
	A	B	C	D
A	○	○	○	○
B	○	○	○	○
C	○	○	○	○
D	○	○	○	○

どの場合も順序よく考える事が大事です